

平成 27 年第 1 回

札幌市教育委員会会議録

※ 非公開に係る議案を除く

平成27年第1回教育委員会会議

1 日 時 平成27年1月23日（金） 13時30分～16時00分

2 場 所 S T V北2条ビル4階 教育委員会会議室

3 出席者

委員長	山 中	善 夫
委員	臼 井	博
委員	池 田	光 司
委員	阿 部	夕 子
委員	町 田	隆 敏
教育次長	西 村	喜 憲
生涯学習部長	梅 津	康 弘
財務係長	田 村	圭 史
学校施設担当部長	大 古	聡
学校施設課長	佐 藤	敬 宏
整備保全担当課長	小 島	孝 仁
学校教育部長	大 友	裕 之
児童生徒担当部長	松 田	昌 樹
教育推進課長	井 口	誠 一
学事係長	村 田	行 信
学びの支援係長	塩 越	寛 史
特別支援教育推進担当係長	田 中	進 一
教育課程担当課長	齊 藤	隆 浩
企画担当係長	工 藤	真 嗣
企画担当係長	山 田	健 一
企画担当係長	渋 谷	一 典
中等教育学校担当課長	宮 地	宏 明
中等教育学校担当係長	村 上	玄 光
中等教育学校担当係員	松 本	剛 典
児童生徒担当課長	須 藤	勝 也
児童生徒担当係長	佐 野	恭 敏
学校相談支援担当係長	喜多山	篤
教職員担当部長	引 地	秀 美
教育制度担当部長	山 根	直 樹

中央図書館長	江 本 功
調整担当課長	千 葉 真
総務課長	杉 村 亮
庶務係長	井 上 達 雄
書 記	石 川 亜 樹

4 傍聴者 3名

5 議 題

議案第1号 平成27年度札幌市学校教育の重点について

議案第2号 平成27年度一般会計当初予算案に係る意見について

議案第3号 平成26年度一般会計補正予算案に係る意見について

議案第4号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案に係る意見について

議案第5号 札幌市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例案に係る意見について

議案第6号 札幌市立学校設置条例の一部を改正する条例案に係る意見について

議案第7号 中等教育学校の設置に伴う関係条例の整備に関する条例案に係る意見について

議案第8号 札幌市児童等に関する重大事態調査検討委員会委員の委嘱について

【開 会】

○山中委員長 それでは、ただいまから、平成27年第1回教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議については、会議録の署名は臼井博委員と池田光司委員にお願いいたします。

また、池田官司委員からは、所用により本日の会議を欠席される旨のご連絡がありました。

本日の議案第2号から第7号は議会の議案についての意見の申し出に関する事項、議案第8号は附属機関の委員の任免に関する事項ですので、教育委員会会議規則第14条第4号及び第3号の規定によって公開しないこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○山中委員長 それでは、本日の議案第2号から第8号については、公開しないことといたします。

【議 事】

◎議案第 1 号 平成27年度札幌市学校教育の重点について

○山中委員長 それでは、議案第 1 号について、事務局からご説明をお願いいたします。

○学校教育部長 議案第 1 号 平成27年度札幌市学校教育の重点について説明申し上げます。

札幌市学校教育の重点については、各学校の学校経営や教育課程の編成、実施、生徒指導等に生かすために、特に重点となる施策や教育内容について、教育委員会が毎年策定しているものです。本日は、平成27年度版の内容について決定していただくため、本案を提出するものです。

お手元に、平成27年度札幌市学校教育の重点(案)及び現行の平成26年度版の資料を準備させていただきました。

この平成27年度札幌市学校教育の重点については、昨年11月に編集方針について説明申し上げ、平成27年度版については、教職員用、保護者・市民向け概要版とも全体の構成は変更せず、札幌市教育振興基本計画の推進等に必要箇所の変更及び文言等の修正を行うこととして、このたび原稿案を作成したものです。

それでは、お手元の資料に基づき、平成27年度版の原稿案について、平成26年度版からの主な変更点を中心に説明いたします。

まず、表紙についてですが、レイアウトと説明文については変更せず、写真を新しいものにかえています。各写真の説明ですが、一番上の写真は、平成27年度に開校する開成中等教育学校の校舎となっています。上から2枚目は、北翔養護学校におけるパソコンを使用した学習の様子です。上から3枚目は、平岸高校において生徒がイタリア人と交流しているところです。右下の写真は、札幌苗中学校での家庭科の授業の様子です。その左隣の写真は、屯田北小学校の生活科の学習、左下の写真は、中央幼稚園における園庭での遊びの場面となっています。

ページをめくっていただきまして、表紙裏には、札幌市教育振興基本計画における目指す人間像と基本的方向性、その下に平成27年度札幌市学校教育の重点の構造図を示していますが、平成27年度から、しんえい幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行することや、開成中等教育学校が開校することにかかわる留意事項を示しています。

次に、1 ページですが、札幌市教育振興基本計画の前期アクションプランにおける重要項目について、それぞれ説明文を加えています。

2 ページは、前期アクションプランの施策体系ですが、重要項目と関連のあ

る施策の示し方について、星印に変更しているところです。

3ページの札幌市の学校教育が目指す子ども像については、写真のみ新しいものに入れかえています。

次に、4ページから6ページまでの学ぶ力の育成については、写真のみ新しいものに入れかえています。このページの写真は、学ぶ意欲や思考力などを育む学習を意識したものを選択しています。

なお、5ページの3枚の写真についても、今は入っていませんが、説明文を加える予定です。

7ページをご覧ください。

このページには、これまでの進路探究学習に加え、下段に課題探究的な学習についてコラム的に入れています。これは、この4月に開校する開成中等教育学校において、この課題探究的な学習を進めることになっており、また、前期アクションプランにおける重要項目の一つにもなっていることから、課題探究的な学習について示すこととしました。

次に、8ページからの豊かな心の育成についてですが、グラフについては新しいものに入れかえています。写真については、ちょうど冬休みに入った関係で、ただいま準備を進めているところです。

続いて、10ページからの健やかな身体の育成についてですが、写真やグラフについて、新しいものに入れかえています。また、各見出しの前の記号についても整理しています。

次に、12ページからの札幌らしい特色ある学校教育についてです。

まず、12ページの上段右側にあるふるさと札幌についての学びについて、札幌市民憲章について新たに触れています。また、下段の読書のところにあるグラフを、新しいものに入れかえています。

なお、このグラフについては、年度の平成を表す「H」が抜けていたので、この後に加えてまいりたいと考えています。

続いて、14ページの校種間連携については、写真について、新しいものに入れかえる予定です。

15ページの特別支援教育、16ページの人間尊重の教育については、一部文言を整理したほか、写真を入れかえています。

17ページの国際理解教育については、平成26年度から変更していません。

18ページの情報教育については、上段のリード文について、電子黒板より使用頻度の多い実物投影機について示したところです。

また、学ぶ力の育成など、情報教育推進の目的を明確に示したところです。

19ページからの信頼される学校の創造についても、一部文言の整理と、写真やグラフの入れ替えを行っています。

以上、平成27年度札幌市学校教育の重点の原稿案について説明させていただきました。

ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

○山中委員長 ありがとうございます。

これまで、正式な会議以外にも何回か協議の場を設けて議論をし、その結果を取り込んでいただいているところではありますが、写真は今回初めてご覧になるということかと思えますし、ご質問、ご意見などがありましたら、どなたでも結構ですので、よろしくお願いいたします。

○池田（光）委員 1ページの真ん中辺になりますが、基本的方向性の③の体力向上のところは、ここ何年かの課題があって、ここに入れたということでしたか。

○工藤企画担当係長 今年度からの新しい教育振興基本計画のパブリックコメントの段階で、体力向上を入れたほうがよいという市民からのご意見があり、振興基本計画に体力向上が重点として示されたことから、こちらにも重点を置くことになっています。

○山中委員長 関連しますが、体力向上というのは、札幌市の子どもが体力の面で問題があるということも指摘されていて、こういうところでも取り上げていただくのは結構かと思えます。しかし、表紙に体力向上にかかわるような運動面の関係の写真が全くないのですが、どうでしょうか。

○学校教育部長 確かに、今回選んだところには、運動の写真が入ってなくて、むしろ学習活動が中心になっています。その視点については、私どもとして、少し考えが及ばなかったところです。

○山中委員長 平成26年度でも、六つある写真のうち二つは運動系の写真が入っています。体力向上について努めることにしながら、今回の平成27年度には写真が全くなくなってしまうというのは、非常に違和感があると思うので、考え直していただいたほうがよろしいかと思えます。

○学校教育部長 今ご指摘いただいた部分については、体力の部分の写真が入るような形で検討させていただきたいと思えます。

○阿部委員 前回まではモノクロの印刷を見せていただいていたので、今日からカラーになって、2色刷りということは最初から聞いていたのですが、もう一つの色がオレンジ系ということで、ぱっと見た印象と前年度のものと比較すると、オレンジ色が物すごく強調されていて、少し目にきついなというのが第一印象です。

そういうこともあって、少し読みにくいなという印象が個人的な感想としてありました。何か工夫の仕方があるようでしたら教えてください。

○学校教育部長 今回、特に意識したのは、前は青を基調にしているのに、構成が変わらないということから、年度が変わったということが分かるように、オレンジ系を用いました。

色については、調整をしていきたいと思います。

○山中委員長 写真についての質問が出ていますので、関連してもう一つ申し上げます。

写真の中で、人が特定できるものはかなりありますが、全てその人の承諾をとっているのかという問題です。プライバシーの関係上、うちの子どもを載せてほしくないということがあり得るかと思うのです。その辺は、どのように対応していますか。

○学校教育部長 写真については、保護者の確認をとり、こういう形で載せさせていただきたいということでご了承いただいているところです。

○山中委員長 各学校に配られるものだということは、きちんとご理解いただいているのですか。

○学校教育部長 このような形でということでお伝えしています。

○阿部委員 写真の件でもう一度確認ですが、表紙の上から2番目の写真で、手が触れていますね。これはどういう状況なのですか。

○渋谷企画担当係長 これは、丸くトリミングしているのでわかりづらいと思うのですが、この子の両脇に先生がついていて、この子の手を持ってキーボードのほうに導いて補助している写真です。

○山中委員長 写真自体がぼやっとしているということもありますが、どうい

うことをやっているのかを一々説明しなくてもわかるほうが望ましいという気はします。よく見れば、介助されているのだなという感じはしますが、第三者が見た場合にどう受けとめられるのか。わかっている方からすれば、今説明されたとおりのことでのよいのでしょうかけれども、そこら辺の工夫の問題ですね。

○**学校教育部長** 特別支援については、去年、特別支援学校の関係が載っていなかったということで、寄せられた声の中に、なぜ小・中学校が載っていて特別支援学校の関係の写真がないのかというお声もあったので、今回、表紙と中にも写真を入れさせていただきました。いろいろな写真を撮るのですけれども、活動の様子がはっきりとわかる写真を見つけにくいところもあってこれを選んだということです。

はっきりわかる特別支援学校の関係の写真があれば、そちらのほうにすることも可能です。

○**山中委員長** あるいは、今から撮り直すということですね。保護者の了解を得るという関係もありますから、同じお子さんに撮り直しをお願いするということも考えられますか。

○**学校教育部長** 再度、撮らせていただく方向で進めたいと思います。

○**山中委員長** 去年入っていなかったから載せようというのは、それはそれでよい配慮だと思います。

○**池田（光）委員** 7ページですが、学ぶ力の育成の一番下の課題探究的な学習の中で、中高一貫教育のことについて少し触れているのですけれども、今年はこのよいのか、あるいは、今年から中等の段階を入れたほうがよいのか、前回も迷ったのですが、この辺の議論は何かありましたか。表現の仕方というか、中高一貫校をこれから重点化していくという意味では、もう一つ枠をつくったほうがよいのか、どうなのかなというところの議論はどうなったのでしょうか。

○**学校教育部長** 基本的には、構成を大きく変えないという感じで、中等でやっている課題探究的な学習については、市内に大きく広げていく役割ということだったものですから、ここにはコラムのような形で入れました。基本的には、大きな変更をさせない中で、ただ、4月からということがありますので、こう

いう形で入れさせていただいたという経緯です。

○池田（光）委員 次年度はどうですか。

○学校教育部長 次年度についても、ほかにいろいろな課題があります。例えば、今、国でも、外国語活動についての動きとか、その他いろいろな動きがありますので、来年度は、ほかの部分を含めて、若干変えていかなければならないところもあるかと今は考えています。ここの部分も、来年度はまた検討する必要があるかなと思っています。

○池田（光）委員 前に一回議論したことがあると思うのですが、この冊子を配布する対象は、昨年と同じなのかどうかを改めてお伺いします。

○学校教育部長 今、見ていただいたのは教職員が対象で、市民、保護者向けの概要版というものも、これが完成しましたら、それを踏まえて概要版をつかって、そちらは保護者や市民にお示ししていくことになっています。

○山中委員長 概要版の場合も、この表紙の写真あるいは中の写真も出るのですか。

○学校教育部長 概要版には出ません。

○池田（光）委員 前回も、親などのための概要版と先生方用のもののギャップがあまりにも大きいと思います。概要版に載る情報が少な過ぎるといいですか、その辺のところは、これは次年度の課題にすればよいのではないかと思います。もう少し膨らみがあってもよいと思います。

○学校教育部長 冊子になっている方は、学校経営とか、校長先生方を中心にしながら各学校で行うかなり専門的な内容で、これをもとに経営案をつかって進めるもので、市民にはわかりにくいこともあるものですから、この中からわかりやすいところを抽出しています。あまり情報が多くなりますと、なかなか読んでいただけないというところもあるものですから、裏表にしたところですが、概要版については、ご指摘いただいたあたりを工夫していきたいと思っています。

○臼井委員 今の件で、もっと詳しいものを見たいという市民に対応して、例えば教育委員会のホームページの中でこれをダウンロードして見られるように

するという事は既にしているのですか。

○**学校教育部長** しています。

○**白井委員** それでは、一般の市民の方でも詳しいものを見ることができるといことですね。

○**工藤企画担当係長** 概要版の裏の一番下に、学校向けのアドレスを掲載させていただいています。

○**山中委員長** 裏表紙に当たるものが1ページ目のように見えるのですが、ページは次から1ページになっていますね。これは、今までもそのようですが、ページとしては、裏表紙は違うということですね。開いてみると裏表紙から始まるように見えます。その辺は工夫したほうがよいのか、あるいは、ページの中に入れてしまうほうがよいのか、その辺はどうですか。

○**学校教育部長** 通常は、奇数ページを開いたときに、右側のほうからというのが割と一般的かということで、ここから1ページになっています。ご指摘いただいたとおり、同じようなボリューム感がありますので、悩ましいところではあります。

○**山中委員長** では、写真等については工夫していただくこととして、それ以外の内容については、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

○**山中委員長** それでは、この内容で決定させていただいて、写真については、若干修正するところがありますが、本日の決定としては事務局にお任せするというにしながら、実際上は見られる範囲で見させていただくようにしたいと思います。

そういうことで、議案どおり決定ということにいたします。

○**山中委員長** 続いて、議案第2号にまいります。ここからは公開しない議案となりますので、傍聴の方は退席していただくようお願いいたします。

[傍聴者は退席]

以下 非公開